

## 『第2回徳山駅周辺まちづくりシンポジウム』アンケート集計結果

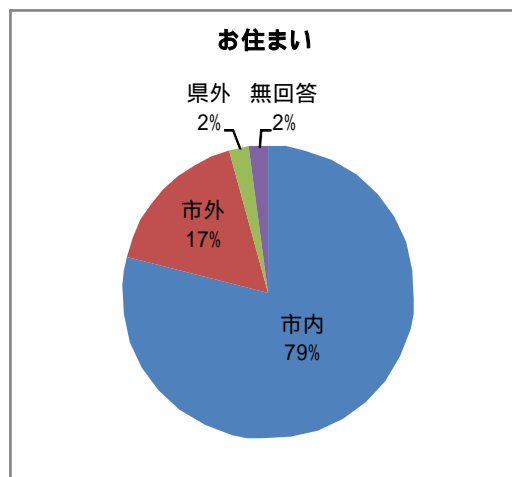
日時：平成22年1月26日(火) 13:30～16:30

場所：周南総合庁舎内「さくらホール」

回答者：95名

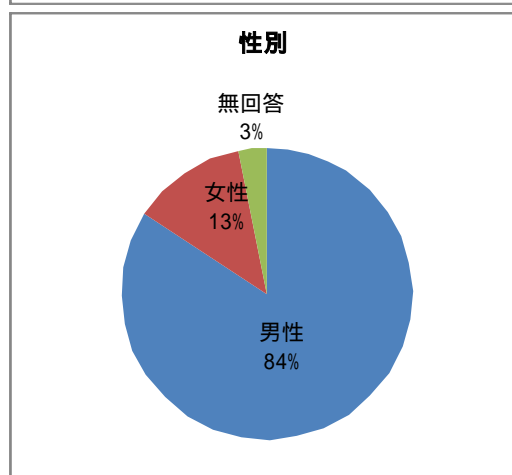
### お住まい

- ・シンポジウムの参加者は、約8割が市内、約2割が市外となっている。



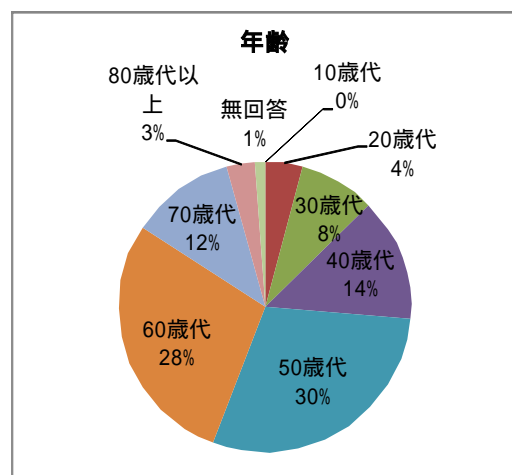
### 性別

- ・シンポジウムの参加者は、約9割が男性、約1割が女性となっている。半数以上が男性という結果となっている。



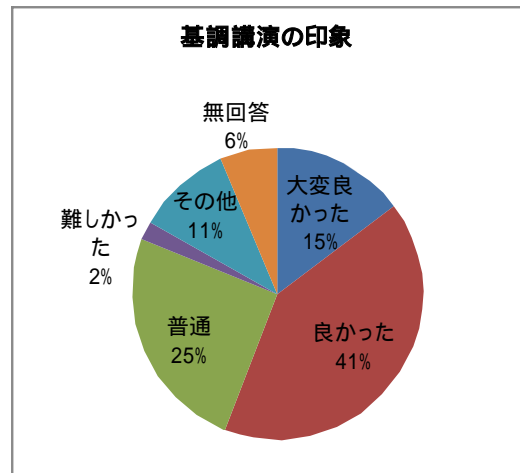
### 年齢

- ・シンポジウムの参加者は、50代、60代が約3割と最も多く、次いで40代、70代が多い結果となっている。



## Q1：基調講演「生活貧乏からの脱出 - まちに居場所をつくる - 」を聞いた印象

- ・大変良かったが約2割、良かったが4割であり、約6割が良かったという意見である。



### 【講演内容に共感したという意見】

#### 《まちに居場所をつくる事に共感》(30名)

- ・篠原先生の思想、考え方がしっかり伝わってきた。
- ・篠原先生の考えはシンプルで解り易い。基本コンセプトとして賛成です。心の豊かさを取戻すべきだと思った。
- ・「まちに居場所をつくる」発想は新鮮だった。
- ・まちづくりに大切なキーワードが聞けてよかった。
- ・居場所というキーワード設定が出来たことは良いと思った。
- ・人としてのあたりまえの事を忘れていた事を思いださせてくれた。
- ・お金でないゆとりについて考えさせられた。
- ・「居場所マップを作ろう」というお話が特に印象的であり大切なことと思った。
- ・今のまちなかには閉塞感がある。やはり、個人それぞれの居場所等が必要だと思う。
- ・都市における第3の空間、ほっとする憩の場が必要だとの意見に共感した。
- ・私達の居場所はある？町には？とあらためて問い直してみる機会になった。
- ・居場所(個人)はあまりない、そういう事に気がつかされた。
- ・考え方の転換という意味で有意義であった。(脱商業)
- ・自分の居場所マップの中に駅周辺があるといいなと感じた。
- ・自分の居場所(マップ)を作る事、良き言葉。自宅以外における人間関係のつながりが出来る様な場所を1つでも、2つでも、と思う次第。
- ・自分の居場所マップの作成は大切なことだと思った。
- ・「まちに居場所をつくる」を考えることが、まちを活性化する方策のヒントになると思った。
- ・「居場所」という言葉にひかれた。家でも、職場でもなく、自分にとっての第3の場所。居心地の良い場所。そんな場所が多いほど、まちは魅力にあふれると思った。そこに居て幸せと思える空間づくりでしょうか。
- ・居場所は全ての生活の基盤(安心)となる。また、居場所は宗教的世界で依り所となる。良い視点からのお話だった。
- ・「まちに居場所をいくつかつくれるか」という言葉が印象に残った。徳山駅を中心に真の意味での生活の豊かさを実現できるようになるとすばらしいと思う。
- ・心ひらける居場所がある、ないでゆとり心はかわる。そういう場所を徳山につくろうとしている。しかし、自分自身が愛着を持つことが必要だと感じた。
- ・与えられた宿題ができるよう一市民として関わっていきたい。
- ・“デザインで人を救う”今まで考えてもいなかった視点から“まちづくり”を考えるヒントが。“街に自分の居場所”を見つけたい。
- ・公共でありながら皆が自分にとって大事なものを「一緒に作ろう」という言葉は良かった。「市民とは何か？大事なものは何か、その未来のデザインを信じるのが大切なのか...」と思った。

- ・戦後、日本の豊かさは何だったのでしょうか。アメリカへのキャッチアップの中で失ったものがたくさんある。今こそ、心の豊かさ、生活の豊かさを求めなければならないと思った。
- ・「自分のものでないと愛着がわかない」という言葉が印象に残った。公共施設だけど“自分のもの”と思える作り込みができれば楽しい。
- ・デザインに市民の居場所を創造する力があるとは思わなかった。徳山駅が市民の憩いの場所となり、多くの市民が集うようになることを願って止まない。
- ・豊かなはずの日本人が実は貧困に気がついていない...でも何かおかしい...そう思い始めている日本人は増えている。それを実に良く、わかりやすく話してくれた。しかし、日本人の豊かさ、昭和40年頃までは、ずいぶんあったなあ...あるいは、今、80才位の方々は実は、それを持っていた人が多かったと思う。公共は失敗すると、誰のためのものにもなくなる - は良い話だった。
- ・現代社会において居場所のある事、探す事はある種、苦勞することなのかもしれないし、逆に簡単なのに近くに見つけていないのかもしれない。
- ・篠原先生の景観デザインへの思いが分かり良かった。

#### 《プロジェクトについて共感》(2名)

- ・プロと地元の意見を混ぜ合わせた幅広いプロジェクトが良い。
- ・歴史とデザインを絡めた内容で楽しく聞くことが出来た。

#### 【講演を聞いての要望・疑問】

#### 《居場所づくりについての要望》(10名)

- ・心豊かに居場所があり、人間関係が保てる街づくり(駅、駅前広場)を考えて欲しい。
- ・誰もが愛着の湧く、憩いの場を作って欲しい。
- ・居場所を作ることは、良人人間ばかり集まれば最高だけど、必ず悪い人、悪用しようとする人が来るので、現社会ではとても恐い場所になりそうです。駅には必要ないが、港の方には出来たら良い。駅には若い人の居場所を作って欲しい。
- ・緑や木が多い市民が憩える広場、の場所がほしい。天気がよければ芝生の上でお茶を飲んだり出来たら良いと思う。
- ・高齢化社会に向けた集いの場を作って欲しい。
- ・高齢者にある程度絞った町(居場所)がこれから益々必要になると思う。
- ・若いときは時間におわれ、急がしく、年をとると、“ゆったりとすごすことができる”居場所が必要。Uターンができる周南市であってほしい。
- ・中心市街地は空洞化しているといわれるが、今後、いろいろな都市機能をはりつけ、「多機能集積」すること以外に、活性化はない。街なかに「居場所」=溜り場を多くつくっていき、そこへ目的意識をもって来ていただく、来街動機をもたすための「まちの戦略」を期待する。
- ・大学生や高校生だけで、徳山駅周辺のまちづくりを語らせてみると、新しいコンセプトもでのではないかと思う。
- ・居場所を見つけるだけではなく、欠落している居場所をこの狭いまちの中でどうやって創り出すかというタイトな戦略が必要だろう。居場所を誰がつくるかだけでなく、市民にフィットする居場所はどんな個性が必要なのかという議論こそがまず大事になると考える。

#### 《居場づくりと駅周辺整備の関連性についての要望》(6名)

- ・居場所について、徳山駅周辺に絞った内容事例が欲しかった。
- ・もう少し具体的な話があれば良い。イメージ出来ない人も多くいたのでは?
- ・写真で説明があれば分かり易かった。ベンチや日南やいろいろな場の映像が欲しかった。
- ・具体性に欠けていた。今日の内容は20分程度で充分。会長の立場であれば、もう少し強いビジョンや方向性を打ち出して欲しかった。
- ・話があまりうまくない。聞きづらかった。タイトル(つまり、まちに居場所をつくること)と今回のデザインコンセプトとの関係、関連性をもっと具体的に聞きたかった。
- ・徳山駅周辺整備ともっと関連した話が聞きたかった。
- ・「まちに居場所をつくる」というのは面白い視点であるが、趣味始め多様な要求にどう応えるか、具体例を挙げて説明して欲しかった。
- ・何故「東大」ばかりなのか。多様な発想の中より選択が必要。

#### 《居場所づくりについての疑問》(4名)

- ・今の計画で徳山駅周辺がそのような居場所になるとは思えない。(これは日本の文化、社会の根底にあることから出ている)
- ・絵を見て感じる事は建物と道を感じ、人のぬくもりが感じられない。このような場所に人は集まるのでしょうか? その様な意味に置いて、再考して、人が集まる建物、場所にして欲しい。
- ・駅(人の集う場所)と居場所との考え方は少し違うと思う。人の集う多人数を収容できる施設ではない。少なくとも施設の収容人数を5000人~10000人が集まって初めて集まる場所といえると思うが、とてもそんな考え方はしません。
- ・議題が徳山駅周辺のことであるならであろうが、他の関係地域との関係はどうなるのかが分からなかった。

#### 【講演に不満な意見】(4名)

- ・何の話か全くわからない。主要点と強調点がはっきりしない。大学教授でももっと勉強(世の中の中)したらどうか。
- ・貧乏の話を冒頭から長々としたが、それが本日のシンポジウムにどう関係してくるのか、聞いていて分かりにくかった。話のテンポ、つかみがあまり上手でない。段々何が言いたいのか? と思ってしまう。あまりひきつける講演ではなかった。
- ・意味のない内容。10分ですむ話しだと感じた。
- ・何故、こんな基調講演をさせたのか? 一緒に考え、一緒に創る事は、いま更できるわけがない。

### Q2: パネルディスカッション「後世に何を残すか」を聞いた印象

#### 【パネルディスカッションを聞いて良かったという意見】(15名)

- ・パネリスト(専門家)の様々な意見を聞き、考えがわかって良かった、将来に希望が待た。安心した。(9名)
- ・皆様方の考えを聞く事が出来て良かった。考えが実現するように協力して盛り上げるように共に努力していきたい。
- ・外部の意見、市内の発想を越えるものは大切だと感じた。
- ・パネラーの皆さんの本気度がよく見えた。
- ・参加された方の自己紹介の中にテーマとした答えが言いあらわされていた。
- ・日向や高知の実例をまじえて、終盤は本音で語られることもあって、良かったと思います。藤井さんの現実路線に賛同した。
- ・地元の将来を真剣に考えた意見が多く、すばらしいと思った。

#### 【パネルディスカッション内容に共感したという意見】

#### 《駅周辺整備の考え方について》(4名)

- ・「創ったものを提供されるだけでなく、使い回し(市民が使いこなす)が必要」ということばは印象に残った。
- ・羽藤先生のお話が駅ビルの役割を全て網羅していると感じた。(交通結節点と目的地の一つとなる駅ビル内の施設の関係)
- ・周南市の徳山駅をこれからいかにしていくか。ほぼ概要は決まっていますが、考える点が多いように思った。

#### 《人(高齢者)を優先したまちづくりについて》(9名)

- ・人を中心にした空間を重視されていると感じた。
- ・ただ作るだけでなく今後の高齢化の問題も考えて居られるのには感心した。
- ・羽藤さんの交通高齢化の話は興味深かった。
- ・今後10年、20年で高齢化が進み、交通の変化や生活の変化がおこる事を知った。
- ・市民の異業種・異年齢の意見が反映できるといいと思った。

## 【パネルディスカッションを聞いての要望・疑問】

### 《駅周辺整備について》(19名)

- ・誰でもがくつろげるような場所を作って欲しい。
- ・若い人が集まれる場所を作ってほしい。
- ・誇りある夢のもてる駅を作って欲しい。
- ・専門家の意見といろいろな取組みを組み合わせた総合的なすばらしいデザインを期待する。
- ・徳山は自然と文化(産業)が調和した街なので、そのシンボルとなるような景観を願う。
- ・公共の場として今いる人のためだけでなく、将来の人のことも考えて、固定的なものを作らない。  
「みんなの記憶を重ねていくものでありたい」
- ・駅前広場はできるだけ広くして欲しい。機能を固定しないで、時代の変化、使い方の変化に対応できた方がよい。メンテナンスも楽だと感じる。
- ・他の市などのモデルとなるようなすばらしい空間を作って欲しい。
- ・高齢化進展のなか、この人たちが何を望んでいるのかという視点の機能施設とともに、やはり、今年生まれた赤ん坊が大人になったとき、おそらく都市、中心市街地に対する価値観が大きく変わっているだろうことを予測し、その時代に陳腐なものになっていないような、大胆な発想のものを残してほしい。(戦後行った御幸通りの広さのように)
- ・子や孫がこのまちで誇りをもって暮らせることがまちづくりの基本だと思う。駅はそのまちの顔であり、出会いの交差点であります。脱クルマ社会も一方では進むのではないのでしょうか。
- ・藤井さんが話された子供のための池(海水にしたり、鮎を入れて魚大会他のイベント等)絶対に実行して欲しい。
- ・筒井さんが言った町のイメージは大切。周南のイメージは何か?人が集まって来る要素があるのか?施設は誰をターゲットにするのか?明確にする必要がある。
- ・徳山駅だけでなく、市内の駅を活用する事。中心思考ばかりでなく(櫛か浜、新南陽、福川、戸田駅)この様な場所を地域の集いの場となる様にする事も必要と思う。そして徳山駅は格となる様に地域の施設(公民館、小、中学校(閉校)等の利用)
- ・良い街になってほしい。市民が使う仕組み、みんなの意見を聞く仕組みが必要。市の企画力が問われている。
- ・地方からの文化、山口からの文化、瀬戸内海をかかえた海文化、工業都市がでる環境都市文化などをしっかりと強調して欲しい。
- ・街は生き物であり村から大波、台風が来ても、枯れないで生き残れるような知恵でしっかりやって欲しい。
- ・未来、2050年~2070年の日本の予想、現実ではなかなか想像出来ない現実がせまっている、ものをつくり、まちをつくり、施設をつくり、市民の空間をつくる。しかし、一番大事な事は、市民の想い、記憶、をいかし寄り、伝え、元気になっていく事が出来るか?実はそれは他人事ではなく、一人一人の意志、気持ちベースになるもので、それがまちを変えていく。しかし、自分達で出来ない専門性は、外部の人間に頼る心の広さも必要である。
- ・徳山駅を50年~100年、これから利用していく上で、これで本当に良いのか、また、それを正当化できるだけの駅ビルの中身をどういう風にしていくかが一番問題だ。全ての電力を新エネルギーや自然エネルギーでまかなえる駅これだけで日本一、日本で初めての駅として後世に誇りをもつてのこせるのでは...!?
- ・役に立つ話が多かったが、デザイナー、建築屋さんでは限界もあると感じた。まちづくりはもっと行政が中心となってリードしてゆくべきと考える。

### 《中心市街地・商業の活性化、賑わいづくりを含めたまちづくりの重要性について》(5名)

- ・中心市街地の活性化は、インフラ整備だけではどうにもならない。町おこしはそこに住んでいる人をいかに起すか、起きることにかかっている。そこに住んでいる人が、私財を投げ出し、血を流し、継続しなければダメ(打上げ花火ではダメ)。中心市街地の人は、保身的で、他人頼みが多い。
- ・切迫した商店街の活性化に求められるものでテンポがかみあわない気がする。徳山は筒井さんのいわれた「土台」がしっかりしていない気がする。交通結節点機能の向上にふれてきたが、活性化とは?

- ・徳山駅周辺を長いスパンで考えると商業市街地から住まいに近い居住地と連動した地域になるのでしょうか？駅前周辺の商業人はこのままでよいのでしょうか。近鉄松下がなくなってしまう。たいへんな事でしょう。
- ・高齢者が増えれば自然と高齢者の居場所は増えると思うので出来たら子供達の遊び場を作り、その廻りを囲むように高齢者が休める場を作れば良いと思う。
- ・居場所と高齢化を感じると老人の行動範囲は 2km 程度と見られます。駅の居場所は駅周辺の人々のためだけであるか？駅の人々は集まって町の活性化と言う視点がかけているのではないのでしょうか？

#### 【パネルディスカッションに不満な意見】(7名)

- ・もう少し将来への具体的視点があれば良かった。
- ・結局、徳山駅をどう整備していくのかわからなかった。
- ・郊外住民を無視した意見ばかりで、腹が立った。これから、ますます徳山と縁遠くなりそう。
- ・周南の顔としてのデザイン性が求められるか？交通ターミナルとしての機能が求められるか？集まって人との交流できる居場所（休憩所）が求められるか？歩ける空間は求められるか？皆さんの意見が基本設計にどう活かされているのかが、不明確である。
- ・残すのではなく、つくってもらうかを議論した方がよい。個人の要求強すぎ。
- ・事例紹介やパネラーの個人的なエピソードが多く、徳山駅をどうするかという話がもう少し聞きたかった。
- ・パネラーが去年の3月と同じ内容を話していた。もっと具体的な話をたくさんして欲しかった。90分の時間のロスである。

### Q3：駅ビルに必要な施設について

#### 〈商業施設〉(25名)

- ・店舗の導入。(モールのように一箇所でも済ます事が出来るように)
- ・周辺にないテナント
- ・「駅ナカ」ビジネスが繁盛しており、利用者もその利便性を大きく感じている。
- ・日常生活に密接な店舗と夢のある店舗。
- ・衣食住に関連した店舗
- ・ショッピングが可能な場所(できるだけ広く)
- ・特売会場(市民の運営)【各地域の特産品(市内)】
- ・乗降客は多い(特に新幹線)が、お土産を買う店があまりにも少なく貧弱である。
- ・子供と母親を集める必要あり。そうすると、食料品や衣類店が必要。基本的な生活用品が全て徳山駅付近で買える必要がある。(ワンステップ)
- ・駅でちょっと買い物かできると良い。日用品、食品の買い物忘れを買えると、もっとJRやバスの利用が便利になる。

#### 飲食(12名)

- ・レストラン / ・カフェ / ・一杯飲み屋 / 無線 LAN SPOT のあるティーラウンジ / 駅前屋台広場または赤提灯がある庶民文化の居酒屋 / ・ファミレス

#### 美容(4名)

- ・美容院 / ・エステ、マッサージ

#### 衣服・雑貨(3名)

- ・ユニクロ、東急ハンズ等の商業店舗、アンティーク店

#### 〈休憩・憩いの施設〉(12名)

- ・たまり場
- ・老若男女が集える場所
- ・市民のため、市外、県外から来る人の憩いの場
- ・水遊びが気軽に出来る施設
- ・どこの駅でもそうだが、駅は座る椅子がない。座る場所。
- ・乗り継ぎまでの休憩所

- ・駅前に広い空間ができますが、冬はやはり屋内が鍵（子供は特に）子供とお年寄りが接点を持つような施設
- ・新幹線、在来線と他の交通機関とのアクセス待ちができる広場や喫茶室、待合室
- ・駅に待ち合い場所がない。高齢者や疲れた人が座って憩える場所が必要。スタバ（コーヒーショップ等）安価で休憩できると良い。（賑わいが呼べるのでは）
- ・くつろげる場所
- ・情報と出会い、人と出会い、新たな刺激を得て、かつ、まちのオアシスとしてくつろげる場所（電車待ちをする人が退屈せずに時間を過ごせる場所）
- ・通勤客が、ただ通勤（乗り降り）だけでなく、会社を早く退社して駅周辺で少しゆっくり出来るようにすると良いし、年寄りも毎日来れるような何か施設が欲しいと思う。

#### 《医療施設》（12名）

- ・病院 / ・老人施設 / ・徳山中央病院の健康診療センター分室 / ・小児科 / ・休日診療所 / ・介護施設

#### 《図書施設》（11名）

- ・図書館（長崎から来た人が図書館の貧相さに驚いていた）
- ・書籍店=図書館になるかもしれない。
- ・くつろげる図書館
- ・本を媒体にして多様な人が出会い、くつろげる場
- ・本を眺めながら、お茶を楽しむ、子供もはしゃいでも良いような、ゆるやかな第二の図書館
- ・静かにまじめに読書するようなまじめな場所ではなく、本とふれあい、本と出会って心が豊かになる、そんな雰囲気を感じられる場所

#### 《公共施設》（6名）

- ・市役所 / ・市役所の受付、証明書の発行できる場所 / ・青少年センター / ・商工会議所ビル
- ・公共施設は市役所機能をもたせるべき。究極は市庁舎、または市民との窓口部署を集約する場所
- ・市民課 / ・ハローワーク / ・年金センター、

#### 《交流施設》（7名）

- ・集会所（2名） / ・会議室
- ・市民館
- ・500～700名のホールが必要。（この規模がこの町にはない）
- ・多目的利用小ホール
- ・グループで集える広場（催し、ミニコンサート等も可能な）
- ・駅前から文化が発信できるようなカルチャースクール

#### 《業務施設》（7名）

- ・銀行 / ・ATM / ・郵便局（3名）
- ・小さい子供を預ける託児所（2名）
- ・子育て支援施設

#### 《娯楽施設》（7名）

- ・ゲームセンター / ・JRAの場外馬券場（2名）
- ・銭湯 / ・風呂・サウナ / ・湯野荘の様々な施設

#### 《交通施設・機能》（6名）

- ・「無料」の駐車場スペース（2名）
- ・理路整然とした駐車及び駐輪設備。
- ・病院に送るシステム（私の祖母 自宅 駅 病院 バスを利用しているが、時間かかりすぎる。）
- ・橋上駅にするにしても、現在乗降に便利な上り、1番線の改札口は残して欲しい。（2名）
- ・駐車場のない場所に公共施設は必要ない。

### 《展示施設》(5名)

- ・ギャラリー
- ・展示場
- ・幼、小、中学校生との作品(特に習字、作文に重点を置くと良い。)
- ・各地域のイベント写真を解説付けて展示(月替り、公報での案内)
- ・病院、老人ホーム等での手工芸品、賞状が各位の励みになります
- ・美術博物館も文化会館も展示会、展覧会はいっぱい。需要にこたえきれていない。特に女性の動員力はすごい。賑わいに大きく貢献する。

### 《音楽施設》(2名)

- ・音楽ホール
- ・500人くらいの音響ベストのコンサートホール

### 《情報施設》(2名)

- ・歴史・観光・情報インフォメーション

### 《オープンスペース(広場機能)》(2名)

- ・フリースペース。雨の時に寒い、暑い時、自由に過せる場所。
- ・老若が集まれるストリート広場、イベント広場

### 《その他》

- 利便性が良い施設
- ・人がいきやすい施設。(2名)
- ・雨天等、天候に左右されずに行動出来る範囲を広く取って欲しい。
- ・北口西側へ駐輪場の設置を検討しているようだが、南口へも小規模でも設置するべきと考えている。また、南北自由通路も歩行者のみ通行ではなく、二輪車等も、通行できる様、二輪車用エスカレーター等も設置し、南北を自由に往き来できるようにして欲しい。
- ・橋上駅の南北動線をフェリー乗り場まで延長してはどうか
- ・交通機関の利便性を考えてもらいたい。北側バス・JR 南側 JR 新幹線 船舶フェリー乗り場
- 魅力ある施設
- ・行くとたのしい施設。
- ・年寄りにやさしい場所。
- 眺めの良い施設
- ・眺めの良い場所。
- ・新幹線を下りてバスに乗る前に一息いれられるような(深夜に夜景を見てくつろげるような)
- ・せめて新幹線のホームよりも高くして海が眺められるように!3階、4階建てはもったいない。
- ・現在の設計図は全く駄目である。駅の屋上は、屋上庭園(ピオトープ等)にして欲しい。
- 子供が集まれる施設
- ・子供が集まる空間、子供が集まれる場所
- シンボリック機能
- ・「まちの顔」としてシンボリックなものであって欲しい。いいものを作って後の人に渡して欲しい。
- ・昨年、西宮駅前の再開発を見てきました。駅舎が橋上にできる事を利用するのであれば、みずほ銀行、三菱銀行、大和生命ビルのような近接ビルとつないで通路を作ってはどうか。予算の都合によっては、基礎づくりのみをしてはどうか。
- ・徳山、周南はおしゃれなまちだと県外者から言われます。神戸に似ているとも。おしゃれな空間にこだわって欲しい。
- ・市民はもとより、県外からの人々を出迎える施設。
- ・地域のシンボル、まちの中心にして欲しい。まちを継げる事になる。
- 集客施設
- 長く支持される施設
- ・一時的なブームや収益のとれるような店舗も重要ですが、長く維持され、また支持される施設が前提。



- ・徳山駅が「寂れた」イメージをこれ以降持たれないように長期的に運営に耐えられるもの。  
“居場所づくり”
- ・子ども、子育て家庭、若者、高齢者の“居場所”を作る。
- ・落ち着いたフリースペース（オシャレなレストラン、図書館、スマートなトイレ）  
耐震性・維持管理面から建て直しの必要有り。

#### 《現機能の活用》

- ・現在の駅ビルにおいては、塾通いの高校生には夜間の居場所、昼においては市民にとっても飲食も可能な自由な交流ができる居場所として、市民交流センター機能が十分に活用されている。居場所をつくる視点を入れるのであれば、現在の機能を残しつつ、更に何が必要か検討する必要がある。あまり多くの施設を詰め込むのではなく、2階、3階部分を更に充実させる方向で検討して頂きたい。
- ・現在の交流センターは駅ビルで唯一機能して、なおかつ理想的な現状であると思う。本を読む学生が勉強でき、子供が遊び、大人が将棋が出来、待ち合わせが出来て、しかも無料であること。統制した規約もなく、適度な規律もある理想的なものであうと思う居場所！！
- ・基調講演のように「居場所」づくりを考えるならば、現在の交流センターの機能を保持することが必要であり、そうすべきと考える。
- ・駅ビルには、市民活動を支援するセンターも設置されているが、市民活動もソフト的に市民に居場所（新しい活動の場）を作ることであり、新駅ビルにふさわしい機能と考える。

#### 《駅ビル施設を検討するにあたっての疑問・要望》

- ・現在想定されている新駅ビルに入れる機能は、近隣に起こっている民間の再開発ビルの中でも組み入れ可能なはずである。市として民間の再開発にしっかり取り組み、先にその計画を活性化に資するものとすべき。その段階で新駅ビルが想定されている場所に何が必要かは、はっきりしてくると思う。
- ・出来るだけ早期に仕上げてもらいたい。駅西の件も一部（ホテルルートインより駅に近い場所）で良いが開発を考えてもらいたい。
- ・駅ビルにどのような魅力あるスペースができるのかが重要である。グッドデザイン賞の大賞を受賞した「岩見沢駅」のレンガプロジェクトのようにもっと予算面とからめても協力してもらい、個人個人の思い入れを強く持ってもらうのも良いのでは。
- ・先に予算ありき。先にハードありきの進め方に疑問を感じております。
- ・大型商業施設は撤退したが、今後入る個々の店舗も、どれくらいの数が入るのか、種別は？周南市としての地域性は？
- ・商業人と財界がもっと一体となって市街地を再生しないとまちづくりは出来ないのでは。
- ・銀南街、銀座街の見直し 抜本的に！！そこで駅ビルの使命が必要ではないでしょうか。逆に銀南、銀座を捨ててしまうことも良いのでしょうか！！

### Q4：自由意見

#### 《シンポジウムについての意見・感想》

肯定的な意見・感想

- ・初めてのまちづくりシンポジウム参加した。パネラーの方々の熱心な素晴らしい意見、説明を聞き、いろんな角度、専門の方々の説明、一日も早く新しい徳山駅が出来上がるのを楽しみにしている。
- ・パネラーの考え方、方向性が見え、親しみがわき、今まで、くもりガラスのむこうの会議室と思われていましたが、わかりやすかった。
- ・シンポジウム全体は、こういうものは計画づくりに着手する前にするものであろう！全体としては有益であったが。
- ・シンポジウムでは双方向の意見交換ができるとたのしく感じられる。いろいろなことを一緒にするというのは、とてもおもしろいかと思う。
- ・会の開催には大賛成であり、大変良かったと思います。
- ・とても良く理解できました。完成が楽しみです。

- ・今日のシンポジウムに参加して中心市街地整備課の方々が本当に一生懸命、頑張っておられるなと感じた。今後も頑張ってください。

#### 否定的な意見・感想

- ・今日のシンポジウムは不要。
- ・進め方に不満。参加者との質疑応答の時間が少ない。手を上げたが、指名してもらえなかった。
- ・時間が足りず、もっともっと議論して欲しかった。聴いている人が消化不良を起こしてはいけないので、パネラーの藤井さんが最後に発言されましたが、あれがとっても良かった。
- ・市民の協力と理解を得るのに、どれだけ本気で考えておられるか？折角、前向きに話をしようとする人が多く集まっているのに、気配りない。
- ・約 15 分間の説明であった駅前基本計画が少なすぎた。これが主要ではなかったのか。現実はどう手を打てばよいのか、JR の考えは、市の考えは、あらゆる情報をうまく使って、聴いている人達に、もっと投げかけられると良かったと思う。駅周辺整備はぜひ必要です。みんなの知恵と汗で魅力あふれる街をつくりましょう！
- ・シンポジウム（講演、パネルディスカッション）の時間が長すぎる。
- ・徳山市内の連携を計る為にも、来場者が交流を持てる時間を作るべき。「一丸」となって取り組む姿勢が足りない。
- ・周南、徳山駅を中心としたシンポジウムになっていないと感じた。
- ・質疑応答、意見交換の時間をもう少し取るべきでは。
- ・市会議員の発言は遠慮してもらいたい。
- ・パネリスト・市当局の方の回答・感想は強く、はっきり、自信を持って願いたい。

#### 要望

- ・回数を固定せず、何度でもすべき。
- ・話したいことが一杯あるが、またの機会で議論する時間をもっと作って欲しい。
- ・要約筆記の内容が分かりにくい。要約できていない。計画説明は分かり易かったが、そもそもの計画を策定する必要性をもっと説明して欲しかった。
- ・もう少し会場からの意見をすいあげる時間をとって欲しかった。開催日時を工夫して欲しい。
- ・質問したいができない雰囲気だった。もう少し質疑が長ければ良かった。
- ・篠原教授の講演時、女性の手話の方の位置。教授の後ろに立っての行動。本人は勿論、周りの関係者の方が速やかに指示（移動）される様、今後の配慮を期待する。手話者の姿が見えなかった。マイクを持った方にスポットライトを！
- ・もう少し会場からの意見を取りあげる時間を取って欲しかった。次回は開催日時を工夫して欲しい。平日の昼ではなく、夜間若しくは土日祭日の開催を望む。
- ・一時間かけて、話を聞きにきました。開演が始まり、遅れた方の客案内をする事何往復、苛立ちを覚えました。最後列よりお願いしたい。
- ・意見を言う人が反対意見の人ばかりであった。賛成者の意見の話も聞きたかった。アンケートを公表して下さい。

#### 《まちづくりに関する意見》

- ・話の内容は大変わかりやすく楽しいと思ったが、それをどう「徳山駅周辺のまちづくり」に活かす、大変難しい。老舗の店をなくさない様に可能なかぎり支援していく。空店舗の利用（無料開放など） 駐車場（有料）2 時間無料開放（半額商店、半額行政側）
- ・シャッターが降りていない商店街 シャッター通りだと街に活気がなく、暗い印象を与えてしまう。
- ・利用者の想定が年代だけでやや足りないのでは。駅から半径 2km 以下の人は 5~6 万人とまり。故に、多くの人が集まる駅周辺というのは 5~10km 位離れた人が「行ってみようか」という視点を考えてほしい。（自分も 5km 位だが、西の徳山、東方の下松、どちらに行こうか迷うことがある。その決め手となるものが必要。）手ぶらが否か、用事のついでか否か、車かバスか鉄道か、が気になる。
- ・在来線が高架となり、本当の目的は中心部の整備で、駅周辺はその第 1 歩。それぞれの居場所を見つけれれる街づくりを進めて欲しい。
- ・公民館的施設は駅、バス停が近く P（パーキング）を備えた施設が新南陽にあるので、想定され

- ている程の利用者数は居ないと思います。せっかく今春の改正でのぞみが増便するのだから、鉄道利用者、在、新、乗り換え客に利便性が高い駅にして欲しい。
- ・徳山駅周辺はアクセシビリティが悪い。歩いていて不便を感じる。
  - ・一番実現して欲しい事は、シャッターの降りた商店への対応。以前の活気を取り戻して欲しい。
  - ・早期都市計画決定を 着工を望みます。でないと街（商店街）が滅びます。
  - ・車社会の中での人と街のかかわりかた。現在車を降りて 10 分歩いて買物が現在車 10 分で店前に着くとの考え方が多いため下松が中心になっている。下松方式の商店街、生野屋も集客力が多い。
  - ・人の集まる、周南中心の地を目指して行ってほしい。
  - ・歩いて暮らせるまちづくりを本当にこの田舎な町で求められているのか？再検証の必要がある（必ず車が必要な生活圏である）
  - ・駅前周辺整備では、銀座通りについて言及されていないが、タクシーが一日中駐車しているのは困りものです。もっと広い御幸通り周辺へ移行なり、他の方法を考えて欲しい。
  - ・駅周辺の活性化の一部として、官公庁マンは率先して公共の乗り物（バス、電車）を利用して通勤してもらいたい。朝夕の賑わいは大事である。
  - ・全てがバリアフリーは良くない！ごちゃごちゃした通り（賑わいのある通り）等も必要。
  - ・徳山駅御幸通り、戦後造成の時、市民から広すぎると苦情が出ていたそうですが、現在は普通に思っているのでは。第二の御幸通りと言われる先取りの施設を作ってはどうか。駅周辺に福祉施設を！
  - ・タクシーと駐輪場の話はごもっとも！！他の街とは違う、周南ならではの計画にしたら良いと思う。
  - ・郊外に流出している（下松等）人々を駅に集めることに周南の今後がかかっています。車社会である山口を考慮すると、車の駐車スペースが無料もしくは 200 円以内で用意される必要がある。南口側のスペースが有効利用出来るバス（北と南のアクセスは重要）同時にバスや電車でお年寄りからお金をとるのは。
  - ・かつて徳山は周辺市町村を含めた中心的な市街であり、徳山内部でも周南団地等開発され、街が拡散していき、中心部の衰退を招いた。
  - ・基本的考え方に周南地区（下松、光含む）中心という感覚、他地域の街レベルと大きく引き離すもの、他の街にはない魅力がある（例：ハイセンス、交流、アート）まちづくりへの市民参画、実験組織化（複数）駅周辺への高密度、集積化
  - ・徳山駅北口周辺には道路を横断する地下道があるが、いずれも急で階段も狭く、高齢者には不便である。改善を望みたい。
  - ・徳山駅周辺整備が完成するまでには、市条例で「禁煙地帯」を！！
  - ・公共交通機関を利用して徳山駅に行くことが多いのですが、結節点としての機能が低いと良いと思います。バス（高速バスから市内線）の乗り継ぎが非常に不便に思っています。乗り換え、乗り継ぎの利便性を良くして欲しい。
  - ・（駅前南北、花畠、美術館、文化会館、動物園周辺、銀座、銀南街、PH 通り、御幸通り、徳山高校周辺等）以上は禁煙地帯とされてはいかがでしょうか。都会的センスのあるまちづくり！！の第一歩。
  - ・活性化については少し消極的な印象だった。

### 《駅周辺の整備に関する意見》

- ・現在の駅のイメージと何が違うのかと思っていたが、新しいデザインであることが分かった。
- ・全ての交通ラインが徳山駅に集まっているというメリットをフル活用。商店街の整備を駅周辺に併せて総合的に進める必要がある。公民連携が進められていますが、民のイメージは各企業のトップの方と 50 代 60 代がメインとなります。20 代 30 代といった若いメンバーの意見を聞くためにも一般から委員を選抜しても良いのでは？（一般公募）当然、書類選考や面接等も実施する。
- ・徳山駅前が全国に誇れるものができる事を期待しています。
- ・駅ビルについて今後どう進めていくのかの説明、議論をして欲しい。
- ・新幹線等の利用出来るため、県外の人を受け入れられる。このビルに色々な分野の施設があるので、いつ行っても楽しいところというイメージを出す。
- ・交通機関が電車の時は、駅は重要な交流の場であった。それに付随する駅前商店街は交流の場であり買い物場であった。車社会となり駅が以前より必要なくなったと言われるが、新幹線を核とした駅は残る。だからこそ 130 億円も費やして整備するものと考え。費用に値する集いの場

を創って欲しい。講演の「居場所」を作るのは賛成！

- ・賑わいづくりのために、商業的機能を求める声も多いだろうが、本日の基調講演にあったような新しいコンセプトのもとに、新しい駅を計画して頂きたい。社会実験にしても、何にしても基本は、それを楽しく（人から押しつけられるのではなく）しようとする人々が必要。また、そのようなグループが必要。そういった支援することが必要。
- ・経年変化が楽しめる場所、建物。木が育っていくとか...経年変化を楽しめる物がある場所。経年変化を楽しめる物が利用できる場所。+におい（四季：木、花 etc...） + 外観
- ・なぜ、駅前の一等地にバス、タクシーなのか？この街は人より車が優先されているのではないか？意味しくも広報の毎月 15 日号の表紙の昭和 30 年頃の徳山駅前広場の写真が残っていますが、このような広場が、今からの心のゆとり、居場所、人間関係が保てる場所が必要なのではないのでしょうか？とにかく、現在の基本計画（案）（現在のバスのりば、タクシーのりばをリニューアルしたような案）には、反対。北口も南口もタクシープールは多くはいらぬ。客待ちでアイドリングしている様子を想像しただけでも、エコではないと思います
- ・“わくわくする町”が駅から感じられると良い。

### 《事業に関する意見と要望》

- ・市民を巻き込んだ整備事業に期待。建設に当たっては、地場産業の材料を優先的に使用することを提案する。高齢社会に対応出来る施設。
- ・徳山駅周辺の整備は必要と思うが、もともとの出発場所、中心市街地の活性化は別に当事者が元気になるって考えないと難しい。駅周辺整備は、街の活性化の一つの方策であるが、お金ではない。財政的にも厳しい時、100 円以上の税金を使うだけの価値がある内容にして欲しい。子や孫の時代に残るもとはいえ、正直言えば、もったいない。
- ・産業道路より海側の開発内容がポータルネットワーク 21 の時代とは大きく様変わりしている中で、南北自由通路の有用性が現在本当にあるのか？
- ・このデザイン（大きく変化を感じられない）で予算規模と利便性向上をトータルバランスで見た時、市民のコンセンサスは得られるのか？
- ・時間的、金銭的な制約のなかでオリジナリティ等出せるわけがないのか！？50 年に一度、100 年に一度の公共投資がこの程度のもので良いのか？

### 《駅前広場の計画に関する意見》

- ・タクシー駐車場は 5~8 台程度のもの。
- ・バス降車場は便利になるが、乗車場は現状のままで、バスでアクセスする人を無視していると思います。徒歩圏内に住む人のみを対象にしているようで、圏外住民は、使いづらい駅になると思います。
- ・タクシー乗場のこと。公共といえどほかにうつせない？
- ・駅頭の最も良い場所にタクシーが陣取るのは許せない。これも御幸通りへ移すなり考えて欲しい。
- ・私は駅周辺に住んでいますが、今回の徳山駅周辺のデザインには大変満足しています。是非早く実現して欲しいと思います。バス、タクシーの配置もとても良いと思います。
- ・観光バスの乗降場がなく、道路上での乗り降りは周南市の恥である。
- ・駅 = 玄関として最終基本計画案に沿って早急に決定・実施して欲しい。

### 《橋上駅舎に関して》

- ・JR の改札口については、もともと 2 つあったものを、JR の効率化により 1 つにするというのは、おかしい。駅舎の移動、敷設には JR の負担はないと聞いている。
- ・様々な工事案件に対して JR 西日本の評判はすこぶる悪い！！本当に橋上駅舎やバリアフリーの負担割合は正しいのか？市民に対して説明がつくのか？慎重に取り扱わなければならない。
- ・橋上駅舎が優先されるのはいかがが。在来の一階改札口周辺が寂れないように！
- ・駅舎の改築にあたり列車の時間まちの飲食場所がほしい。
- ・橋上駅のアイデアは良かったと思う。但し、エスカレーター、エレベーターは必要であるが、費用がかかるので、太陽光発電で動かすなど、ライフサイクルコストを考えた計画をして欲しい。
- ・1 階の改札口は残して欲しい。
- ・橋上駅舎にしなければならない必要性は何ですか？この問題は多数の人々から疑問が出ているが、市側からはっきりとした解答がでない。JR 側からの要望という話は初めて知った。

- ・南北自由通路の設置により新幹線利用客はスマートに感じるのではないか。

#### 《駐車場に関して》

- ・中心商店街の駐車量を無料に近くする。
- ・無料の駐車場がないとイベントや公園があってもわざわざ車を駐車して行かないと思う。田舎は高齢者でも車を利用している方が多いので。
- ・駅周辺の駐車場が全て有料であることが最大のネックである。駐車料金も1時間200円は高すぎる。
- ・やはり駐車場が主な問題だと思う。もう少し、その辺りの話が出来ても良かった。

#### 《駐輪場の計画について》

- ・駐輪場が優先されて、南銀座通りに面する店舗の住人は車輛通行が出来なくなるのでは。大変不便である。わざわざ線路側に通路を新設する事は大問題である。

#### 《観光について》

- ・下関のようにJRとタイアップした観光戦略や企画もののツアーづくり等が必要(対等な立場構築のため)観光資源の見極めが必要

#### 《植栽計画について》

- ・樹は四季のわかる花木を植えた方が、四季折々の感動があって良い。花ミズキ、マロニエ、桜、ニセアカシア、ライラックなどの行政サイトの花木はさけてほしい。カマズミ、エゴノキなどの雑木が推せん。
- ・植樹の計画があるが、どんな木を植えるのでしょうか？木の種類によって落ち葉やメンテナンスが大変になるのではないか。

#### 《その他の意見》

- ・タクシー、バスの乗務員がお客様に対する対応の指導は、第三者の方の講習が必要ではないか。
- ・バス・タクシーの方にも今まで以上におもてなしの心をもって、イメージアップに努めて戴きたい。
- ・在来線口 ツヨシ口、新幹線口 港口・コンビナート口等、副称を考えては？